三木市総合計画素案《概要版》

計画策定の趣旨

当市では、2019 年度までの計画として、2015年度に「くらしの豊かさを実感し、いつまでも住み続けたくなるまち」を目標とした「三木市創生計画 人口ビジョン・総合戦略」を策定しました。

そして、今後も人口が減少し続けるということを現実として受け止めつつ、将来にわたり、まちの活力を保ち続けるため、市政を推進する様々な計画の最上位となる「三木市総合計画」を策定することとしました。当計画は、20~30年先の未来を見据え、今後10年間の市のめざす将来像や目標を明らかにする羅針盤となるものです。

この新しい総合計画は、地方創生の実現に向け種々の課題が山積するなか、これまで市民と行政とが共に築き上げたまちの基盤の上に立ち、市民、議会、企業、団体、行政が一体となった"チーム三木"による新たな協働のまちづくりを進めていくため、総合的かつ計画的なまちづくりの指針として策定するものです。

計画策定の視点

- 人口減少に見合ったまちづくり
- 未来を見据えた、市民目線による施策づくり
- "チーム三木"協働による、明るい未来を実感できる計画づくり

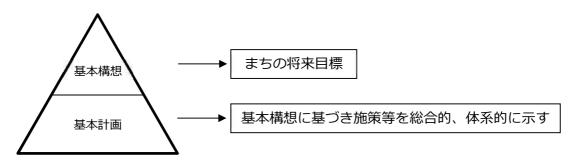
これらの視点を具体化するため、市政の目的 の明確化と、それに基づいた「指標・目標値」 を設定します。

計画の構成と期間

「三木市総合計画」は、基本構想及び基本計画で構成します。

- ◆基本構想: 10 年間(2020 年度~2029 年度) まちの将来目標を示し、計画的にまちづくり を進めていくための基本指針です。
- ◆基本計画: 10 年間(2020 年度~2029 年度) 基本構想で示した将来目標を実現するための 具体的な施策の展開等を、総合的かつ体系的に 示した計画です。

基本計画は、社会情勢の変化等に対応するため、5年後に必要に応じて見直しを行います。 その際には、市民アンケート調査を実施するなど、市民の皆さまのご意見も伺います。



前後期:年度	前期:2020年度~2024年度	後期:2025年度~2029年度
基本構想	10年間の計画	
基本計画	10年間の計画	(5年後に必要に応じ見直す)

まちの将来像

当市には、先人たちが築いてきた誇るべき歴史、 文化、自然、産業が息づき、都会にも距離的に近い自然豊かな、ちょうど良い田舎です。また、防災・文教施設も整備され住みよい環境が整っています。この素晴らしいまちの魅力に磨きをかけ、 県や近隣市町等と連携を図りながら、未来へつながる持続可能なまちづくりをめざします。

まちの魅力に包まれ、当市で安心して暮らせる ことに誰もが誇りを持ち、他の人が困っている時 には、気づき、助け合い支え合う心優しい人々が 集うまちをめざします。そして、市民、議会、企 業、団体、行政のすべての人々が、きずなと協働 の精神のもと、一体となってまちづくりを推進し ます。

このような考えに基づき、まちの将来像を

『 誇りを持って暮らせるまち三木 『

~チーム三木(市民・議会・企業・団体・行政) 協働によるまちづくり~

とします。

基本計画の体系

このようなまちの将来像を実現するため、子 どもから高齢者まで必要に応じた暮らしの支援、 安全・安心に暮らせる環境の整備、まちの魅力 の向上という点に着目し、次の3つのテーマを 設定し、基本計画を定めます。

- 1 未来へつなぐ人と暮らしづくり
- 2 安全・安心なまちづくり
- 3 いきいき輝く魅力づくり

さらに、この3つのテーマにまたがる横断的な施策として、「枠組みを超えて取り組む三木づくり」を位置付け、テーマ間の連携を図りながら戦略的にまちづくりを進めます。

1 未来へつなぐ人と暮らしづくり ○結婚・出産・子育てを支えるまち ○誰もが学び続ける環境のまち ○安心して暮らせるまち

3 いきいき輝く魅力づくり ○地域資源で人を呼び込むまち ○地域の魅力を伝えるまち ○地域の魅力を高めるまち 2 安全・安心なまちづくり ○暮らしに必要な環境を整えるまち ○持続可能なまち

○持続可能なまち○防災のまち

4 枠組みを超えて取り組む 三木づくり

〇分野横断施策

○地域の思いを形にする取組



チーム三木(市民・議会・企業・団体・行政)による協働のまちづくり

人口の将来展望

国や県が推進する少子化対策を最大限に活用 しつつ、市独自の子育て支援等に取り組むこと で、子どもを産み育てやすい環境の、より一層 の充実をめざします。

また、当市から転出する方のうち、特に若年 層のふるさと回帰を促す魅力的な仕事の創出や 情報発信等を促進します。

子育て支援の充実による子育て世代の転入促進と転出防止、移住希望者に対する I・ Jターン施策の充実等を図ることで、兵庫県が定める水準と同水準の社会増(転入>転出)を図り、三木市創生計画に示す 2060 年に5万人の人口を維持することを目標とします。

■行政の役割

- ・まちづくりに関する積極的な情報提供
- ・まちづくりの計画に基づく施策の実施
- ・市民・企業・団体のまちづくり活動への支援

計画の推進について

当市の地域資源である歴史、文化、産業などを守り育て、チーム三木(市民・議会・企業・団体・行政)協働により地域の活力を高め、誰もが当市での暮らしに誇りが持てる、魅力あるまちづくりをめざします。

■市民の役割

- ・まちづくりへの積極的な参加と協働
- ・まちづくりに関する積極的な提案
- ・まちづくりのルール化への取組

■議会の役割

- ・行政運営の適切な調査・監視
- ・議会活動を通じた市民の自主
- 的・自発的な活動の支援

議会

行政

チーム三木で 協働のまちづくり

市民

団体 企業

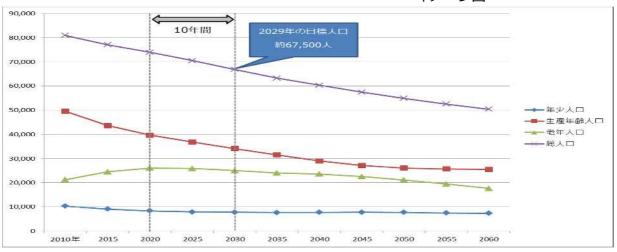
■団体の役割

- ・まちづくり団体などの組織強化
- ・まちづくりへの積極的な参加
- ・まちづくりに関する積極的な提案
- ・他団体との連携強化

■企業(大学)の役割

- ・まちづくりへの積極的な協力
- ・まちづくりに関する情報、知恵、知識や技 術力、人材の提供
- ・環境・景観に配慮した事業展開

イメージ図



グラフ 目標人口

基本計画の抜粋(テーマ、柱、枠組み、めざす姿、具体的な施策)

テーマ	柱	枠組み (施策:戦略的・経営)	めざす姿	
1 未来へつなぐ人と暮らしづくり	(1)結婚・出産・子育て を支えるまち	①出会いサポート・結婚支援 ②出産支援 ③子育て総合支援等	若い世代が、明るい家庭を築き、安心して出産し、 未来に希望を持って子育てができるなど、幸せな人 生を送ることができています。	
	(2)誰もが学び続ける 環境のまち	①学校教育②青少年育成③生涯学習④文化・スポーツ⑤就学支援⑥大学連携等	子どもたちは、学校で学力向上に取り組むとともに、英語やICTを活用した教育により、未来を担う人材に育っています。また、地域の活力を持続するため、生涯にわたりより多くの人に、より多くの学びの場を提供する取組が広がっています。	
	(3)安心して暮らせる まち	①健康・福祉 ②安全・安心 ③社会保障 ④人権 ⑤男女共同参画 ⑥市民協働 ⑦生活困窮 ⑧市民サービス ⑨地域コミュニティ等	市民一人ひとりが地域等で助け合いながら、安心 して生き生きと、かつ、互いが自立し認め合い暮ら しています。	
2 安全・安心なまちづくり	(1)暮らしに必要な環 境を整えるまち	①環境 ②エネルギー ③利活用(循環型社会) ④公共交通等	地域それぞれの特色が育まれ、暮らしに快適性や利便性が備わり、その環境を市民一人ひとりが享受し自分のものとして活用しています。	
	(2)持続可能なまち	①共存社会 ②広域連携 ③公共施設マネジメント等	人口減少を伴いながらも地域での生活が脈々と営まれ、自分たちの希望する暮らしのなか、様々な活動に取り組んでいます。	
	(3)防災のまち	①防犯・防災 ②住環境 ③都市基盤(安全・安心)等	災害に強く被害が少ない都市基盤の整備が進んでいます。また、市民は、各自で災害等への備えが整い、被災があっても復興に向け協働の活動をしています。	

具体的な施策(重要度の高い施策等)				
子育て総合支援	●質の高い就学前教育・保育の充実			
●子育て支援情報の提供と相談窓口の開設	●多様なライフスタイルに対応した保育サービスの実施			
●地域で子どもを育てる意識づくりの推進	●放課後児童健全育成(アフタースクール)事業の推進			
●子育て不安を抱える家庭への支援	●幼保一体化計画の推進			
●児童虐待の防止と対策	●在家庭保育への支援 等			
学校教育	生 注			
●教育環境の整備	生涯学習			
●総合的な学力の向上	●多世代が参画する生涯学習の推進			
● I C T機器の整備	●地域コミュニティの活性化			
●児童生徒のICT活用スキル向上の推進	●社会教育団体の育成支援			
●連携した特別支援教育の充実	●図書館サービスの充実 等			
健康・福祉	●地域で安心して暮らせる体制の整備			
●健康づくりと介護予防の推進	- ●療育の充実			
●保健医療体制の強化	●福祉サービス等の充実			
●情報の発信	●国民健康保険や後期高齢者医療制度の健全運営			
安全・安心	市民サービス			
●交通安全市民運動の推進	●窓口の混雑解消のために先進技術導入を検討			
●人の目の垣根隊の充実	● マイナンバーカードの発行、各種証書のコンビ二交付を啓発			
●継続した「ネット見守り隊」事業の推進	●官民連携による市民サービスの維持・向上			
●消費者被害の防止と相談体制の整備	●堅実で効率的な財政運営			
社会保障	●市民への周知 等			
利活用(循環型社会)	公共交通			
●「ゼロエミッション活動」の推進	●鉄道及び幹線バスを軸とする公共交通網の形成			
● 3 Rの推進	●まちづくりと連携した便利な公共交通網の形成			
●各種団体による集団回収の奨励	●公共交通の活性化及び利用促進 等			
●環境学習の機会の提供				
共存社会	● 外国人への行政サービス支援			
●多文化共生に向けた意識啓発	●外国人市民の地域参画の促進			
●共生のきっかけづくり	●国際交流の促進 等			
	 			
防犯・防災	住環境			
●住民参加型の消防訓練の実施	●空地・空き家の適正管理			
●地域安全活動(防犯活動)と防犯対策の推進	●空き家相談窓口の一元化			
●災害時の初動体制の整備及び確立	;●地域を地域で支える機構づくり 等			

基本計画の抜粋(テーマ、柱、枠組み、めざす姿、具体的な施策)

テーマ	柱	枠組み (施策:戦略的・経営)	めざす姿
3 いきいき輝く魅力づくり	(1)地域資源で人を 呼び込むまち	①観光・交流 ②インバウンド戦略 ③ふるさと納税等	地域資源を発見し、磨き、内外へ発信し、それに 共感する人々との交流、協働の活動をはじめていま す。
	(2)地域の魅力を 伝えるまち	①関係人口②ブランド化・シティプロモーション③情報発信等	当市を訪れる人が、鉄道やバスなどを利用し、当 市の魅力を体験することで、その魅力に共感し、当 市と関わりを持つ仲間が増え、地域の魅力が広く伝 わっています。
	(3)地域の魅力を 高めるまち	①地場産業②産業振興③創業支援・事業承継④歴史・文化遺産⑤後継者育成⑥利便性⑦景観等	当市の中小企業や地場産業がさらに活気を生み出すとともに、雇用の場が増加し、安心して暮らすことのできる生活環境が整い、生き生き生活しています。
4 枠組みを超えて取り組む三木づくり(分野横断施策)	(1)分野横断 プロジェクト	①行政経営 ②業務改善 ③人材育成 ④都市基盤 ⑤生涯活躍等	職員一人ひとりが、「チーム三木」の一員としての 自覚と誇りを持ち、分野横断的な連携をさらに強め、 市全体に風通しの良い雰囲気が生まれています。
	(2)地域の思いを形にするプロジェクト		地域のニーズを共有し、仲間や企業との協働や、 複数の地域が連携した多様な組み合わせにより魅力 的な地域づくりに取り組みます。その結果、地域の 個性が輝き、相乗効果が生まれ、三木らしさが醸成 されています。

具体的な施策(重要度の高い施策等)

観光・交流

- ●観光資源にかかる体験事業(ニューツーリズム)
- ●観光客を回遊させる仕組みづくり

関係人口

●地元企業との連携

情報発信

●市外のニーズを把握する

地場産業

- ●地場産業の情報発信の強化
- ●関係団体との連携強化
- ●金物産業の魅力度の発信

産業振興

- ●農業支援
- ●有害鳥獣対策

行政経営

- ●事業の「選択と集中」と堅実な財政運営
- ●公共施設等の適正規模・適正配置
- ●官民連携による市民サービスの維持・向上 業務改善
- ●災害に強い市役所運営
- ●今後の予想を創造に変える努力

人材育成

●公民連携による事業の推進

●市民協働による施策の推進

地域の思いを市民や民間事業者との協働により実・・人口減少、少子・高齢化における限られた人的資源と新た 主体となり地域の方と課題を検討し、施策を進めましていきます。 す。

- ●当市の歴史を楽しめる周遊ルートの整備
- ●スポーツツーリズム推進事業
- ●若者が魅力を感じるイベントの企画 等
- ●市での情報発信の手法や体制の検討

ブランド化・シティプロモーション

- ●ブランド戦略の推進
- ●三木金物ふれあい体験の継続 等

●経営への支援

利便性

- ●鉄道及び幹線バスを軸とした交通網の構築
- ●「デマンド型交通」などの新たな交通手段の導入検討 景観
- ●地域資源の保全・活用
- ●協働による地域環境の形成 等

都市基盤

- ●安全で安心なまちの形成
- ●安全で快適な道路環境を整備・補修
- ●大規模住宅団地における活力の維持・向上

牛涯活躍

- ●いつまでも健康に暮らしていくためのサービスの整備
- ●世代を超えた交流の促進
- ●移住促進のためのまちの魅力の向上
- ●雇用の安定化へ向けた支援 等

現するため、公民館職員(地域まちづくり担当)が、な技術を繋げることにより、多様化する市民ニーズに対応し

地区毎での意見等

tth			市民アンケート結果		
地区	将来のあるべき姿	地域での取組	重要だと思う項目上位3項目	重要度と満足度の差が大きい上位3項目	
三木	・安心して避難 できるが祭りに ・子ともするまち ・駅前が賑やかな まち	・地域で懇談会を 小単位で行う・子どもに地域の成り立ちなどを 伝える・積極的に神戸電鉄を 利用する	①電車やバスなど 交通機関の利便性 ②災害に強いまちづくり ③消防・救急救助体制の整備	①電車やバスなど 交通機関の利便性 ②商店街の活性化などの 地域商業の振興 ③中小企業の振興	
三木南	集える空間が あるまち高齢者が技術学習 できるまち高齢者も稼げる まち	・若者が高齢者に ネットを教育する・高齢者がネットで商売等 の活動をする・廃校等活用による漫画資料館を開設する	①電車やバスなど 交通機関の利便性②ごみの分別、リサイクル 活動の推進③犯罪のないまちへの 防犯対策	①電車やバスなど 交通機関の利便性 ②商店街の活性化などの 地域商業の振興 ③中小企業の振興	
別所	・地域に防犯カメラ があちもこう ・誰としまもこう ・カスと ・カスと ・のでうまもが ・のでうまが ・のでうな ・のでうな ・のようち ・のようち	・企業の名前入の防犯 カメラを設置する・近所の子どもたちと日頃 からコミュニケーション する(挨拶、声かけなど)・日頃から近隣で コミュニケーションを図る	①電車やバスなど 交通機関の利便性 ②災害に強いまちづくり ③安全な水道水の供給	①電車やバスなど 交通機関の利便性 ②商店街の活性化などの 地域商業の振興 ③中小企業の振興	
志染	・三世代が 住み続けるまち ・地元に残り、 帰ってくるまち ・人が移住するまち	・良い所を地域や家族で話し合う・子どもに地元の良さを伝える・他地域から学ぶ	①犯罪のないまちへの 防犯対策②医療施設や救急体制③道路の整備	①商店街の活性化などの 地域商業の振興 ②電車やバスなど 交通機関の利便性 ③歩道の整備などの 交通安全対策	
細川	・若者等が 住みやすいまち ・多世代がるまち ・教育の中心 になるまち	・子育てに地域のお年寄り も協力・就農希望者とのマッチング・子育てキャラバンの第二 の拠点づくり	①安全な水道水の供給 ②市税などの収入確保による 健全な財政運営 ③健康診断や健康づくりへの 支援	①電車やバスなど 交通機関の利便性 ②災害に強いまちづくり ③商店街の活性化などの 地域商業の振興	
口吉川	・子どもが一人で 動ける環境のあ るまち ・良い思い出が 作れるまち ・農業で雇用を 創出できるまち	・ふれあいバスの運行を 充実する ・山田錦で企業とコラボ する	①道路の整備 ②災害に強いまちづくり ③電車やバスなど 交通機関の利便性	①電車やバスなど 交通機関の利便性 ②災害に強いまちづくり ③商店街の活性化などの 地域商業の振興	
緑が丘	・住み続けたいと 思えずまち ・アプリで三木の 情報まち ・ あいま者も地域 ・ 活動に るまち	・三木を知るアプリを 作成、使用する ・勤務者も、土日は活動に 参加する ・地元のお店を積極的に 利用する	①消防・救急救助体制の整備 ②犯罪のないまちへの 防犯対策 ③安全な水道水の供給	①商店街の活性化などの 地域商業の振興 ②電車やバスなど 交通機関の利便性 ③新規企業の誘致など 工業の振興	
自由が丘	・子どもが 安全なまち ・市内に雇用が あるまち ・車無しでも暮らし やすいまち	・高齢者が人の目の垣根隊 へ参加する ・公民館活動へ参画する ・市民が神戸電鉄を 利用する	①医療施設や救急体制 ②電車やバスなど 交通機関の利便性 ③災害に強いまちづくり	①商店街の活性化などの 地域商業の振興 ②電車やバスなど 交通機関の利便性 ③中小企業の振興	
青山	・体験活動が でデマンドの ・デマンと 発達している まさい ま子ともが はみやすいまち	・行政との関わりが学校でできる・地区で助け合う (同乗など)・Uber (ウーバー) へ参画する	①犯罪のないまちへの 防犯対策②消防・救急救助体制の整備③医療施設や救急体制	①電車やバスなど 交通機関の利便性 ②商店街の活性化などの 地域商業の振興 ③中小企業の振興	
吉川	・幼稚園、小中学校 からの意見ます 取り入れるまち ・子の良も同士まち ・大人できるまち ・交流できるまち	・地域の自慢や課題を みんなで見直す・家庭に力をつける・一人ひとりが力をつけて、 地域の成長につなげる	①災害に強いまちづくり ②安全な水道水の供給 ③消防・救急救助体制の整備	①電車やバスなど 交通機関の利便性 ②商店街の活性化などの 地域商業の振興 ③歩道の整備などの 交通安全対策	

三木市総合計画素案《概要版》令和元年7月発行 三木市

〒673-0492 兵庫県三木市上の丸町 10番 30号

TEL 0794-82-2000 (代) URL https://www.city.miki.lg.jp/ 事務局 総合政策部 企画政策課企画政策係